

岐阜信金に社会貢献賞

全信協 草潤中への支援評価

岐阜信用金庫は、全国信用金庫協会主催の第28回信用金庫社会貢献賞で、「Face to Face」を受賞した。2021年に東海地方初の公立の学びの多様化学校として、岐阜市が開校した草潤中学校

への支援が評価された。岐阜信用金庫は、21年度から草潤中の運営方針を検討する協議会に参画。生徒が希望したカリキュラムの要望に合わせ、県内在住のイラストレーターでつくる「岐阜新文化会」のメン

バーを定期的に派遣したり、校内に「産学官連携ブース」を設け、生徒が自由にイラスト制作現場を見学できる環境を整えたりした。他にも、生徒への金融リテラシー教育プログラムの実施や、教員やPTAでつくる草潤中サポーターズにぎふしん記念財団から助成するなど幅広い支援を展開。好岡政宏理事長は「今

後も活動に連携し関与することで、SDGs(持続可能な開発目標)が目指す『誰一人取り残さない』社会の実現に向けて取り組んでいきたい」とした。同社会貢献賞は1997年に創設され、地域や社会への貢献活動を実践する信金や関係団体を表彰。同金庫によると、受賞は第12回以来で、今回で全部門での受賞を達成した。